

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	愛知県	代表者名	中野 幸治		
担当者部署	総務局総務部	連絡先電話番号	052-954-6968		
担当者役職	主任	担当者氏名	佐藤 由佳	連絡先E-mail	*****
住所	460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	石塚 清香
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	午前は提供していただいた動画による講義、午後は動画に対する質疑応答から、業務改革（BPR）に関する講義や、業務分析と業務フロー作成について、ワークも交えて分かりやすく解説していただいた。 行政に携わる側の立場でもお話ししていただけたので、参加者は強い共感が得られたと思われる。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年7月18日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時00分	16時30分	10
				活動時間（分）	200
3-2. 派遣場所	会場名	愛知県自治センター6階 602・603会議室	最寄駅	地下鉄市役所駅	
	所在地	名古屋市中区三の丸三丁目1番2号	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past year all houkoku/
------	--------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 職員	人数 38人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	各所属でBPRまで踏み込んだDXを推進するにあたり、職員に十分な知識と経験が不足している。	
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・BPRに対する知識を深め、BPRを進める上で必要な思考方法を学ぶ。 ・業務の可視化を行うプロセスを学ぶ。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・事前学習用の動画提供 ・動画内容に対する質疑応答 ・業務変革（BPR）に関する講義 ・業務分析と業務フロー作成のワーク	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	各職場の課題となっている業務について、業務の分解→業務フローの作成→業務フローの分析・深掘り→課題解決のためのアイデア出し→理想の業務フロー作成という一連のBPRの流れを学び、体験することができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 受講者の職場で課題となっている各業務の業務フローを作成した。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	グループ課題となっている業務フローの深掘りが足りていないので、今後の研修を通じて、理想的な業務フローのブラッシュアップを行い、具体的なDXへと繋げていく予定です。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートの回答締め切りが7月末のため、報告書提出期限までに回答を得ることができません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	実践形式でDXの取組に必要なスキルを習得し、各所属のDXへの取組をより推進できる人材を育成する。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



